



【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】 先手あいさつ

一歩でも前進 充実の秋に

9月末まで出されていたまん延防止等重点措置及び県独自の緊急事態宣言が解除され、時差登校等通常とは異なる形で行ってきた学校生活も、今週に入りようやく日常に戻ってきました。9月中は、家庭で生活することも多く、保護者の方にもご負担をおかけした点もあったかと思いますが、ご理解・ご協力ありがとうございました。

日常にと先ほど書きましたが、50分で6校時まで授業を行うなど日課表は元に戻りましたが、まだ学校生活ではレベル2であることを意識して、感染症対策を徹底して行っているところです。そのため、ペア学習やグループ学習、理科の実験・観察などを再開しても時間を短くするなど、状況を見ながら順次できるところを増やしています。

さて、今回体育大会を10月21日(木)に延期しました。それは、応援団も含めて練習や準備に一定の時間をとり、思い出に残る体育大会にしてあげたいとの思いからでした。平日開催で3年生の保護者のみの参観となりましたが、生徒が作り上げた感動の大会となるよう努めて参ります。

同時に、10月に入り部活動の練習も全ての部で始まり、大会も実施されるようになりました。体を動かしたり練習したりする機会も少なかつただけに、元の状態に戻すには少し時間がかかるかもしてませんが、久しぶりの活動に生徒も生き生きとしています。今後の成長が楽しみです。

また、学習面でも9月に授業時数が減った分につきまして、今後予備時数等も活用しながら当該学年で学習する内容を確実に履修できるよう進めています。既に今年度実施されました全国学力・学習状況調査の分析結果をお知らせしましたが、現3年生は全国、県、市と比較しても同等かそれ以上の結果を出しています。5月に調査が実施されるまでの確実な努力の成果と捉えています。一人一人の希望の進路の実現に近づけるよう今後も学習面の充実も図って参ります。

これからも、感染症対策を徹底しながら教育活動の充実に向け取り組んで参ります。

情報モラル教育の充実に向けて

GIGAスクール構想に基づき、一人一台タブレットの活用が進んでいます。

そのため情報モラル教育の重要性がますます増えています。情報モラルとは、「情報社会で適切に活動するための基となる考え方や態度のこと」であり、情報モラルの判断に必要な要素としては、節度や思慮、思いやりや礼儀、正義や規範などの日常のモラルとインターネットの特性や心理的・身体的特性、機器やサービスの特性など情報技術の特性の理解があります。

本校では、道徳科も含めて教科や学級活動、総合的な学習の時間等で計画的に指導を進めています。5月に行いました外部講師を招いての情報モラル講演会もその一環です。また、折に触れて情報モラルのことについて考えさせたり、話しているところです。今後、「DQ World」等も活用し、より生徒一人一人が「善き使い手」となれるよう努めて参ります。